

会費振込先 第一勧銀川崎支店東北大学ワンダーフォーゲルOB会 普通口座(370-1881604)

赤岳にのぼる～今年も八ヶ岳で同窓会

今年も昨年に引続いて八ヶ岳で同窓会をしましたので報告します。

そもそも動機

昨年行った八ヶ岳同窓会が好評を博したので、今年も行うことにしました。ことしは趣向を変えて紅葉を見に行くことにしました。昨年は春でしたので。八ヶ岳の最高峰「赤岳」を背景に酒を酌み交わす計画で盛り上がりました。そして、連絡手段として一部で電子メールが使われました。これは地理的に離れている人達との連絡にとっても便利です。

いよいよ当日

当日快晴でした。見返として中央高速大渋滞しました。その結果、11時茅野駅前集合のところ、全員そろったのは12時を過ぎました。でも、幸運なことに美濃戸まで車で入ることができました。1時間の行程短縮です。ちょうど大同心、小同心が紅色に染まる時刻に、行者小屋に到着しました。そこで早速、テントをたてて鍋を囲みました。放射冷却現象ですこぶる冷えました。そのためか酒のピッチが進んだようです。月齢19.4の月明かりでも、テントの外は思いのほか明るかったです。

さてさて翌日

超快晴でした。稜線に立つと富士山、白峰三山が目の前に迫ってきました。そして、遠くは北アルプスの主稜線、中央アルプス、御岳山も見渡せました。卒業して十数年が過ぎて、みんな当時と変わったといえば変わりました。そして、変わっちゃいないといえば変わっちゃいません。でも、こうして山という額縁に入ってしまうと年月がなくなるのが不思議です。下山後は河原温泉で疲れを癒してから、すし屋で反省会をして解散しました。

メンバー

桜庭、千田、富士原(TUWV 21回 57年卒業)
石川、佐藤、坂口、手塚、西川(TUWV 22回 58年卒業)

注) 本来は去年の
会報に載せる
記事です。

コース

1995年 10月14日 茅野駅発(13時)---美濃戸山荘(14時)---行者小屋(16時半)
10月15日 行者小屋発(7時半)---赤岳頂上(9時半)---行者小屋(11時)
---美濃戸山荘(13時)---河原温泉(14時)---茅野解散(16時半)

ワングルOBむかしを語る会

(昭和55年卒)

大竹 秀男

「ワングルOBむかしを語る会」の別称は「加藤の尻を叩く会」と言ひまして、そもそものこの会をやる事になった経緯からお話しましょう。われら昭和55年卒は総勢14人で、卒業後次々と（ポロポロと？）結婚してゆき、今年（1996年）3月に13人目の石川重年がめでたく結婚の運びとなりました。同期は結婚式に全員招くのが原則となっておりまして、重年の結婚式にはほぼ全員集合し、OB会になったわけです（我々にとっては、いつも結婚式がOB会みたいなもので！）。その2次会の際、今回出席できなかった者もいるし、卒業して16年も経つことだから55年卒でOB会を開かないかとの話になったのが始まりであります。やるなら仙台の近くが良いと言う事から、山形在住の岩田と仙台在住の大竹が幹事の重責を仰せつかりました。その際、まだ1人身は「加藤」1人となってしまう事もあり、家族全員で集まり、加藤の尻を叩こうではないかと言う事になった訳です。

OB会は、1996年7月13日（1泊2日）、山形蔵王温泉の竜山荘にて行いました。出席者は板橋正之+妻、川島芳之+妻・子、角田隆+妻・子、須々木裕太+妻・子、高川正徳+子、小島博之+妻・子、斉須幸司+妻・子、五十嵐稔+妻・子、岩田徹+妻・子、大竹秀男+妻・子、加藤正己の計OB11名で、家族を含め約40名が集まりました。不幸にも出席できなかった者は、新婚の石川重年（仕事の都合）、佐野豊（家族に不幸）およびアメリカ人（？）になった小山茂典（アメリカ西海岸サンノゼ在住）の3人です。年齢構成は38才から41才で、頭の薄くなった者、頭に白いものが目立ち始めた者など、みんな歳を感じさせる風貌になってきました。

集合は午後6時だったので、山寺まで足を延ばしてから着た者、仙台経由で着た者などいろいろだった様ですが、誰一人として山に登ってきた者はいませんでした。風貌だけでなく、身体も・・・かな！。次の日に山登りの計画を立てようとしたのですが、企画に止められました（嘘です）。全員集まると、子供が約半分を占めておりますから、子供会の遠足みたいなものです。夕食の時は宴会とは全く異なった雰囲気、ワイワイガヤガヤ。子供達はアツと言う間に仲良くなり、2次会ではビンゴゲームで川島の息子がリーダーシップを取り盛り上がりました。やはり親の血かと笑ってしまいました。3次会でやっと静かに囲炉裏のある部屋で、男だけでむかしを語り始めました。薄暗い部屋で、みんなで酒を呑みながら話していると大学時代の気分になり、アツと言う間に酒はなくなり、おひらき。歳は取っても変わってない友。酒は少し弱くなったかな！ 次の日全員で写真を取り、次回のOB会の開催を約束し（幹事：加藤・斉須・五十嵐君次回よろしく）、解散。ちなみに、幹事の岩田と大竹はカメラを忘れたのである。各自のカメラで取ったのだが、だれ一人として幹事に写真を送ってこないのである。

追録：小山は「運命の女の子（千代さん）」と出会い、以来13年間人生を伴にし、子ども2人。アメリカに渡って7年になり、ゴルフにはまり、アメリカの広大な自然を家族とオート・キャンピングで楽しんでいる。また、サンノゼには1年先輩の金井さんもおり（エレクトロニクス会社務め、6年になる）、時々あつているとのことです。（手紙の抜粋）

佐野は仙台の山岳会に所属し、同期では唯一山を積極的に続けている男である。年末年始には毎年、妻と愛娘の碧（ミドリ）ちゃんと山に籠もっているとのことである。

26期がお誘いする TUWV OB山行

剣岳に登ってみませんか

突然のお誘いですが

私たち26期は、以前のOB会報でもご報告させていただきましたとおり、毎年秋に山行を積み重ねてきました。今年(96年)の山行(八ヶ岳)のあと、「来年は、前後の代にも声をかけようか」との話が盛り上がりました。この場をお借りしてOB山行の呼びかけをさせていただきます。

9月の連休を使います

日程は9月20(土)、21(日)、22(月)、23(火、秋分の日)です。21日に剣沢小屋か剣山荘に宿泊。22日に大町周辺の宿で宴会をし、23日午前解散の予定です。22日を頑張ってお休みすれば4連休。久しぶりに山の空気を味わいに行きましょう。

心を高揚させる山、剣岳

「まことに剣岳は、そんな昔から、それを仰ぐ人々の心を高揚する山である。何よりその風采の豪毅にして颯爽たる点である。日本アルプスの高峰にはそれぞれの風格があるけれど、一つの尖端を頂点として胸の透くようなスッキリした金字塔を作っているのは、この剣岳と甲斐駒ヶ岳ぐらいであろう」「全く剣岳は太刀の鋭さかつよさを持っている。その鋼鉄のような岩ぶすまは、激しい、峻しいせりあがりをもって、雪をよせつけない。四方の山々が白く装われても、剣だけは黒々した骨稜を現している。その鉄(くろがね)の磐と急峻な雪渓に守られて、永らく登頂不可能の峰とされていた。弘法大師が草鞋千足を費やしても登り得なかったという伝説はさておき、日本アルプスの山々が登り尽くされる最後までこの峰は残った」(深田久弥「日本百名山」より)

“登頂不可能”の峰も、立山黒部アルペンルートのおかげで、いまや1泊2日で登頂可能な一般ルートとなりました。

室堂ターミナルから剣岳までの距離は、片道7・9キロ。コースタイムは

第1日 室堂(30分)雷鳥平(90分)別山乗越(25分)剣沢小屋「2時間25分」

第2日 剣沢小屋(20分)剣山荘(30分)一服剣(45分)前剣(40分)平蔵のコル(30分)剣岳(30分)平蔵のコル

(30分)前剣(60分)剣山荘(25分)剣沢小屋(40分)別山乗越(95分)室堂ターミナル

「7時間25分」

【参考】「フルカラー特選ガイド 立山・剣岳を歩く」(山と溪谷社)

カニのタテバイ、ヨコバイ

はちよつと無理かなあ、とい

う人のために

一般縦走路になったとはいえ、剣はやはり難所の連続。そこで、荒天時と、体力に自信がない(もしくは二日酔いの)人の2日目は、立山縦走を選ぶこともできます。

コースタイム(前出書より)は、
剣沢小屋(40分)別山乗越(30分)別山(50分)真砂岳(15分)大走りコース分岐(70分)大汝山(15分)雄山(35分)一ノ越(45分)室堂ターミナル「5時間」

コース選択は自由

つまり、決めておくのは宿泊日時と場所だけ。あとは好きなメンバーとPARTYを組んで、そのPARTYの責任で行動していただく、という形態なのです。ですから、早月尾根を登っても、極端な話・ロッククライミングをしていただいても結構です。もちろん、大町の宿の宴会のみの参加も受け付けます。

この形態では、事前に全参加メンバーの行動予定を把握しておくことで、1PARTYだけの登山よりも安全性を高められますし、PARTYの人数が膨れ上がることによる行動しにくさを防ぐこともできると考えています。

「9月の連休の予定なんてまだたたないよ」、という方がほとんどでしょう。でも、「北アの紅葉見物もたまにはいいかな」と思った方は下記にご連絡を下さい。気のあった方と声を掛け合って久しぶりに山に行きましょう。22日の宿の手配だけは必要なので、早めのご連絡をお待ちしています。

〒790 松山市萱町6-147-4 スプリングハウス101
伊田浩之 (089-923-4473)
電子メールは、ida@ehime-np.co.jp

あの人は今・・・近況報告

前略

大変ご無沙汰しております。
 91.3.21より'96.2.17迄香港へ駐在しておりました。
 育った故郷には13年、仙台に4年、現住所へ22年、香港へ5年と香港が第三の故郷となりました。
 広東省は元より中国各地へ出張し中国を少しは知る事が出来ました。'97.7.11には香港が返却となり、香港の文化が、大陸へ吸収されてしまい、独自性が無くなるのが心配です。今後小生の商売に大いに影響するか。
 群馬の田舎へ住んでいるため、新年会にも出席せず誠に申し訳無く思っております。
 来年は新年会に出席したく考えます。
 我ら41年卒は卒業以来一同に会した事は無く、初めて30周年の同窓会を蔵王にて行いました。
 記憶にある蔵王と現在の蔵王との大きな落差に驚くと共に、歳月を感じせざるを得ませんでした。自転車で遠刈田より上山、米沢経由喜多方まで行った時は余裕が無く変化を見取る事も出来なかったが、車は楽ですね。
 出席者は遠く西は神戸、東は青森、秋田から合計16名集まり、卒業以来初めて会う人がいたりして非常に懐かしく又髪が薄くなった人、白くなった人等おり、30年の歳月を感じました。
 この次は40周年かと思うが何人が元気でいるか？何時までも元気で会いたいものだと思う。

早々

41年卒 藤田 凱己
 370-06 群馬県邑楽郡邑楽町新中野91-3

山登りや今でも続けています。たまたま小笠原の山小屋に、日帰りか、泊りか、泊るとかで。行くついでに山小屋は、北110kmの北横岳ヒュッテです。常連として名前を連ねています。夕飯は、鍋料理が主体で2〜3時間のカジュアルな宴会とすべしです。

さて、今年のハイライトは、山登りであるJRブルートレイルの旅で北海道5泊6日の豪華旅でした。3泊とした海外旅行をみで。結婚30周年記念の旅で、2年前からの計画とやがて実現しました。

往路は、大阪からトワイライトエクスプレスで出発。日本海と見るがそのフランス料理フルコース。札幌は、定山溪の温泉ホテル鹿の湯(花かみ)のんびり、又市内では、生きたタバガニと注文し隣の小料理屋で舌づつみ。帰路は、JR東日本はるる北斗星でゆたりと過ごし、ブルートレイルの旅を満喫しました。何しろ、たまたま山小屋と外の景色と眺めている時間の余裕は至福の時です。

S45卒 片野 '96.11.26

最近のようす 37卒 藤己

ここ数年、家内と「自然観察」ということで、近くの小笠原山を歩き始めました。休日に、セブンスで「おにぎり」を買い、ポットに熱い湯を入れ、コーヒと紅茶のパックを持って出かけます。

最初は200〜500m程度の里山を歩いていきましたが、近頃はもう少し高い、皆様にも「なつかしいなあ」と言ってもいえる山にもでかけています。

おもなものを挙げておくと、

(昨年)

- 5月 赤岳(鬼首), 8月 黒岳(北横山)
- 9月 神宮岳, 10月 姥地蔵(船形)
- 11月 表磐石・赤岳

(今年)

- 6月 北横岳 7月 芝草平(蔵王), 赤岳
- 8月 八甲田山 10月 雁ヶ山
- 11月 北西白山

このほか、山形県に足を伸ばす計画です。

オキナーと2人で100才を記念して山復活。正月は八ヶ岳で。

8/5〜8/10: 上高地-槍沢小屋-槍沢水河公園-殺生小屋-槍-南岳-大キレット-北穂-カラ沢岳-奥穂前穂-岳沢-上高地

10/10〜10/12: 上高地-涸沢-北穂横尾-上高地
 (小笠原のスケッチ山行)

11/29〜12/1: 夜叉神峠-辻山-南御室小屋
 (夜から激しい風と雪。冬季小屋の中にテント張る。鳳凰三山に居るのは2人だけ? 頂上おきりめ下山)
 広島で大雪!
 南御室小屋-辻山-夜叉神峠
 -芦安で風呂 S44年卒佐藤拓哉

福島にもいて早、6年目、4人の子
供もそろそろ年かかかす(なり)
昨年の(1/15) 1/15 1/15 1/15 山登りを初
めました。今年は、焼石と会津駒に
登りました。久しぶりに山に入り(で
る)子の(は)登山用品の進歩と登山
年齢層の変化、登山の高年齢化に
はびっくりしました。
子に子に若いと40才。

P.S. 今年の夏、我々の代の同窓会が
妻子をかえて岩田、大竹両君の幹事
山形森玉で開かれました。これは
今春 ~~突然~~ 結婚した、百川重年君の
結婚式のときにあったもので、名目
同期で最後の独身と、たか藤正己君を
はげすむ(という)もの(でした)
アムレール 加藤 S.D. 五福 籠

この7月から流通サービス業(スーパーや外食
産業)向けのコンピュータシステム販売を担当
することになり、土、日出勤当り前の生活
をしております。山からは取り遠ざか
り、今年6才になる息子を高尾山につれて
いったのが唯一の山行(?)です。
最近は大まかに電子メールでOB諸氏
の近況が伝わってきて、勤務中の
秘かな楽しみとなっています。

荒木 哲哉 (558年卒)

PC-VAN GUT30246
Eメール
ARAKI@p381-350.star.nec.co.jp

OB会にも東京單身赴任(92-94)時代
1回参加してはいたが、本当に無沙汰に
なっております。

山行の方は、朝又(あけ)の大甲山(932m)
にも車で登る(?)始末で、結婚以来25年
間遠ざかっています。

194秋
"山"と又のつくものは、最近では奥鬼怒
川(11/2), 95年秋・八幡平(11/2),
96年春・美ヶ原(11/2), およびBS7で
"花の百名山"観賞程度で済み、学生の頃
1スタンプかどこかにあるようです。

と、こうで、神中(か)に住んで、大震災(あ)って
一時"物欲"か(は)つ(た)り(生)きて(い)かん(て)の(幸)せ
と素直に感じ(た)と思(っ)たら、結局また以前の
の"俗人"に染(っ)って(し)ま(っ)て(お)り(ま)す。

神中にて 544卒、石井良知

TUVWOBの皆様

御無沙汰致しております。

ワニゲルを卒業して早16年 子供たち
も12才と10才とになりました。

年をとるのは早いものですね。

主人(香明)の方は11月18日に53年卒
同期会があり、久しぶりに学生時代にもど
り飲み語り合(っ)い、楽しい時を過ご(し)たよう(で)す。

私の方も同期会をたいに行(っ)たい(と)思(っ)いま(し)た。

登山にはあ(っ)か(っ)れて(い)ま(っ)あ(っ)か(っ)ら(っ)あ(っ)か(っ)ら
で(っ)あ(っ)い(っ)の(っ)で、近く(の)山(へ)のハイキング(を)
して、楽しんで(い)ま(す)。

ワニゲル時代の縦走が懐(か)しい(限)り(で)す。

相川 美石子(554卒)

TLWVの皆さん、こんにちは。
OB 八木正昭(4期)
九州、大分県・熊本からの近況報告です
33年春、通算31年間の主筆を引く山崎の
一族長を、当地へ引越して多岐、理
学、熊本工業大学、エネルギーエレクトロニクス研究
所へ勤務しています。

市内のお水の団地に住んでおりますが、さすが
大分県でしょうか、我家には、温泉が引いてありま
す。弱アルカリの単純泉、無色、50~55℃。効能
は(?)です。出張しても、ホテルのバスにつか
るにはないのは事実です。九州の山々や東北と
は全く違いますが、阿蘇の山々も、地
熱の宝庫です。当地は、科学的な開発の利便
的で、夏の暑さは九州やんすれば「まじい所
です。熊本には、TLWV、OBの江端正直氏
(2期)が熊本大学に居られます。大へんお元気だ
と誇られておられるようです。
最後に、幹事の石藤雅彦君 にご報告です。

こんにちは。ごぶさたしております。
今年の夏は思いがけず主人と中国へ行
きました。北京、ウルムチ、トルファン、
敦煌、西安のあこがれの旅。夕暮れのな
か砂漠にのぼりラクダに乗り、カザフ族
のパオで馬乳茶を飲んだり、真夜中のバ
ス旅行でみごとな天の川に感激！荒涼と
した故城での40度の酷暑を今では懐かし
く思い出しています。初めての中国は西
へ行くほどに本当に魅力的な
ところでした。遠くから眺め
た白い天山山脈へいつか行
きたいと夢んでいます。

主人と同期の第10期のみな
さん、思わぬ機会があつて
シルクロードへ行っていま
いました。すみません。で
も何回でも中国は行きたい
と思っています。どうぞよ
ろしく願います。



野家裕子

さて、今回は“ワングルOBむかしを語る会”の案内ありがとう。久しぶりに“ワ
ングル”の四文字を眼にし、なつかしく皆の顔を思い出しました。卒業16年とのフレー
ズを読み、あらためて時のたつ速さを感じています。

私の方は、ご存じのように、ワングル卒業後紆余曲折ありましたが、今は、トーキ
ンという電子部品メーカーの米国現地法人トーキン・アメリカのエンジニアとして、
カリフォルニア州サンノゼ市に赴任して足掛け7年になります。サンノゼ市は、サン
フランシスコの南に位置し、かつてはブドウやイチゴの果樹栽培地域でしたが、ご存
じのように、現在は通称シリコン・バレーと呼ばれる半導体やコンピュータメーカー約
2000社が集まる米国有数のハイテク産業地域の中心都市です。暖かく穏やかな気候で2
月には桜が咲き、1年中カリフォルニアの陽光にみちあふれ、人々も明るく開放的で、
大変住みやすいところです。仕事は、日本やアジアの工場で生産しているコンピュー
タや通信機器用の電子部品、電子材料の米国マーケットでの販売、マーケティング、
技術開発およびそれらの管理にあたっています。かつての私の“勤勉”な学生生活
を知る皆様にとっては信じにくいことかもしれませんが、ともかくも英語を駆使しアメリカ人達
とエレクトロニクスの世界で飯を食っているわけで、人生とはわからないものです。
ついでに言えば、ワングルで1年先輩だった金井さんもサンノゼにあるエレクトロニ
クス会社に勤めており、もう6年になります。時々会いますが、最近永住を決意した
ようです。

SHIGENORI & CHIYO OYAMA (55年卒)

938 ERICA DRIVE, SUNNYVALE, CA. 94086, USA

新年会のお知らせ

新年会は毎年1月の最終金曜日（今回は第5金曜日なので注意）にいつもの所で行っています。

平成9年1月31日（金）18：30

新橋駅のすぐ近くにある新橋亭（しんきょうてい）

会費は10,000円の予定

皆さんお誘いの上ご出席下さい。特に若い人の出席は大歓迎です。遠くの方でも、東京に出張などで来るような場合には、ぜひ出席して下さい。飛び込み大歓迎です。反対に、出席ということになっているのに、当日欠席される方も結構います。これは本当に幹事泣かせです。予定が変わった時は、早めにご連絡下さい。

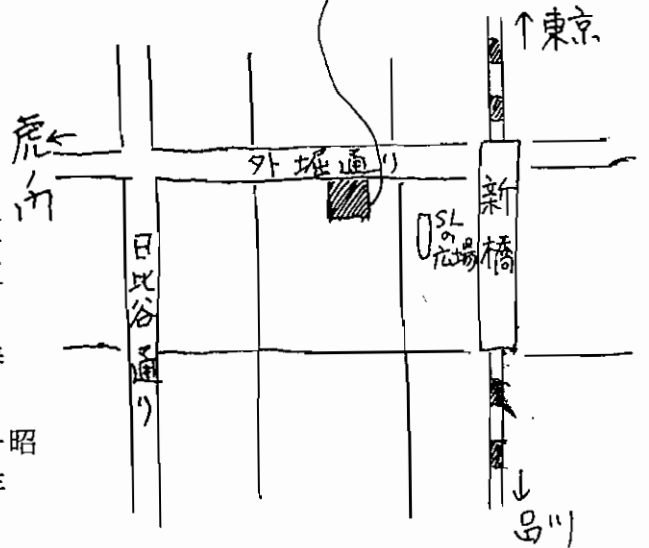
問い合わせ、連絡先 佐藤拓哉 Tel 0468-41-8622

新橋亭本店
03-3580-7811

平成8年新年会出席者

- (S39) 小俣勝男、岡好宗、後藤龍男、松木功
- (S40) 及川捷悦、小原佑一、島崎質、白井洋行、
- 緑川学 (S41) 朝倉肇、海老央一、太田光司、
- 渋谷尚武、瀬尾勝之、谷正美 (S42) 新井武、
- 恩田達也、加藤邦明、桜井正久 (S43) 大木芳正
- 金子清敏、菊谷清、藤森英和 (S44) 小笠原弘三
- 佐藤拓哉、濱聡、水上俊彦 (S45) 伊藤千代子
- 富川正夫、桃谷尚安 (S46) 薄木三生、甲斐利春
- 黒田和雄、菅原英行、田中康則、藤田徹 (S47)
- 池田重則 (S48) 藤田真利子、神山文範、松井一昭
- (S53) 田沼唯士 (S55) 五十嵐稔、石川重年
- 板橋正之、川島芳之、須々木裕太

以上46名



平成7年1月～12月会計報告（東京口座）

収入	
繰越金	474,486
OB会費	56,000
利息	907
計	531,393

支出	
会報N026	40,169
近況報告等	5,325
事務通信費	2,006
次年度繰越	483,893
計	531,393

★★ 編集後記 ★★

- ◇会報27号をお届けします。毎年どこかで同期会が開かれているようですが、事務局にはなかなか情報が入ってきません。同期会の様子をぜひOB会報に載せたいと思います。同期会の幹事の仕事のひとつとして、「同期会の様子を事務局に知らせる」ということを追加して下さい。もちろん、誰かを指名していただいても結構です。
 - ◇近況報告を何人かの方をお願いしていますが、近況を送って下さるのは、いつも1/3程度です。「忘れる前にポストへ」よろしく願います。
 - ◇バックナンバーを希望の方、ご連絡下さい。大昔のもの（当然手書き）もあります。
 - ◇年会費は1000円です。1ページ目の口座に振り振り込んで下さい。数年前の新年会から集めるのを止めました。
- 皆さん、ご協力お願いいたします。